知的障害教育部門小学部２学年生活科学習指導略案

学習グループ	小学部Ａ部門２年	授業者	坂川貴子　竹岡光那　津田守一
時間	１３：１０～１３：４０	場所	小学部Ａ部門２年教室
単元名	お正月遊び		
本時の目標	・お正月の遊びを知り、簡単なルールを理解して活動することができる。（知識・技能） ・友達を意識して、協力したり競争したりする活動に取り組むことができる。（学びに向かう力・人間性等）		

本時の展開

時間	学習内容	指導上の留意点および配慮事項	備考
１３：１０	・はじめの挨拶をする。 ・今日の活動の流れを知る。	・プログラムカードを用意してわかりやすく説明をする。	プログラムカード CD
１３：１１	①　ししまいの鑑賞・実演	・鑑賞用の獅子舞は、怖がる児童には無理に近づかないように配慮をする。可能な児童は、安全に気をつけて頭をかむ仕草をする。ミニ獅子舞の操作の仕方を最初は手を添えて教える。	獅子舞 ２種類 大中
１３：１５	②　たこあげ ・２人で協力してあげる凧 ・平行に移動する凧	・協力して引き上げる凧は、児童の実態に合わせてひもの長さや立つ位置を配慮する。 ・平行に移動する凧は、児童の実態に合わせてひもの長さや歩く距離を調整する。	凧 垂直用１ 平行用１
１３：２５	③　こままわし	・児童の実態に合わせてこまの高さやひもの長さ立つ位置等を調節する。	こま ひも
１３：３０	④　はねつき	・最初は打ち方や持ち方を手を添えて支援する。羽根の高さを児童に合わせて調節する。本物の羽根を打つことが難しい場合は、教師がひもを持って打ちやすくする支援をする。	羽子板 羽根
１３：３５	⑤　鑑賞　ロールペーパーシアター 「正月さんのあとから」 ・終わりの挨拶をする。	・集中できるように言葉がけ等で支援する。 ・先に道具を片づけてから終わりのあいさつをする。 ・今日の活動の評価、次回の学習の予告を行う。	ロールペーパーシアター

使用した教材・教具　（小学部 知的障害教育部門）

教材	説明
	＜ししまい（中・小）＞ 段ボール製の獅子舞で児童に舞を見せたり、かむ仕草をしたりした後に、牛乳パックで作ったミニ獅子舞を両手を使って操作する活動を行った。 （中獅子舞）左手であご部分を支えて右手で取っ手を持って動かすと口が合わさって音を出すことができる。 （小獅子舞）親指を下あごの穴に、残りの４本指を上あごの穴に入れて指を動かすと口が合わさって音を出すことができる。
	＜たこあげ＞ （垂直型　１人用）上から吊り下げたひもを手繰っていくとたこが垂直に上がる仕組みになっている。 （垂直型　２人用）上から吊り下げた２本のひもを一人一本ずつ持って手繰っていくと、協力してたこを上げることができる。 （平行型） 上に張ったひもを中に通した筒をたこの絵で挟み、そこにひもをつけてひけるようにした。（ロープウェイ方式）児童がひもを持って走るとたこも動くようになっている。
	＜こま＞ こまは上から吊るしておいた。芯に巻き付けたひもを手繰るとベーゴマのようにこまが回る仕組みになっている。ひもを手繰っている間こまは回るが、上から下げたひもも同時によじれるのでひもが外れた後も反転して回る。
	＜はねつき＞ １００均の光るボールを中に入れて３色のカラービニールで包んで作った羽根にひもをつけて、上から下げて羽子板で打った。打った時によく音が出るように底にペットボトルのふたを一つつけた。 児童が上手に打てるようになってきたので、本物の小さな羽根にゴムをつけたものも横に下げて打つ練習を行っている。
	＜ロールペーパーシアター　正月さんのあとから＞ A3 の紙を横半分に切り、テープで４枚つなげたものに、１月から１２月までの季節の絵を描いた。トイレットペーパーの芯に１２月の部分から巻き付けておき。曲に合わせて引きだしていった。